

2011年度

科目名	西洋史学A				
担当教員	小林 典子				
配当	文 1・教福1・人社1			コード	22004
開期	前期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	近代的社会システムのルーツを考える				
目的と概要	現代グローバル社会は、かつてヨーロッパが生みだした近代社会システムの理念と遺産の上に築かれています。「ヨーロッパ近代」はわたしたちの生活に、自由と豊かさという恵みをもたらし、日本人にとっては遠いあこがれの対象でありつづけてきました。けれども同時にそれは環境破壊や国際紛争など地球的規模の問題をかかえこんでいることも確かです。21世紀の冒頭にたつ今、ますます「ヨーロッパ近代」の意味とその価値が問われることでしょう。ヨーロッパの歴史の流れをその始原にさかのぼりつつ、とくに近代のルネサンス現象に焦点をあてて概観し、理解を深めます。				
成績評価法	学期末に提出するレポート(70%)+平常点や授業時のミニ・レポート(30%)				
テキスト	授業時に資料配布				
参考書	『＜ビジュアル版＞ヨーロッパの出現』（樺山紘一 講談社） 『山川世界史総合図録』 その他必要に応じて指示				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	覚える歴史でなく、考える歴史へと発想転換し授業にのぞんでほしい。 歴史の最前線としての、わたしの今・このルーツを学ぶという姿勢を評価します。 レポートは授業内容との関連を重視するので、しっかりとノートを取ること。				
講義計画					
第1回	開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション ーなぜヨーロッパ史をまなぶのか：現代社会とヨーロッパー				
第2回	西洋史の対象と方法（1）「西洋」とはなにか				
第3回	西洋史の対象と方法（2）「西洋」をどう見るか				
第4回	ヨーロッパの誕生：ケルトとゲルマン				
第5回	ヨーロッパの誕生：ケルトとゲルマン				
第6回	ヨーロッパの宗教：キリスト教の誕生と導入				
第7回	ヨーロッパの宗教：キリスト教の誕生と導入				
第8回	ヨーロッパのアイデンティティ：偉大なる地中海文明 ー近代の夜明けとしてのルネサンスー				
第9回	イタリア・ルネサンスの開花				
第10回	イタリア・ルネサンスの開花				
第11回	イタリア・ルネサンスの開花				
第12回	ルネサンス概念の検証とその現代的解釈				
第13回	ルネサンス概念の検証とその現代的解釈				
第14回	ルネサンス概念の検証とその現代的解釈				
第15回	まとめ				